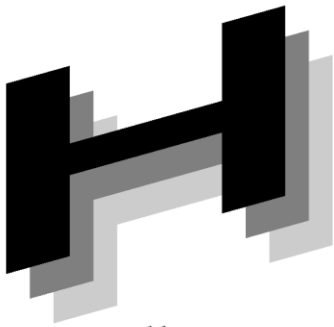


Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

JAHIS

電子版お薬手帳

データフォーマット仕様書

Ver. 2.6

2024年9月

一般社団法人

保健医療福祉情報システム工業会

医事コンピュータ部会

調剤システム委員会

JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.2.6

まえがき

平成22年5月に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)により発表された「新たな情報通信技術戦略」では、その重点施策として「全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現するため、国民が自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用するための全国レベルの情報提供サービスを創出する。このため、第一段階として、個人が自らに対する調剤情報等を電子的に管理する仕組みを実現する。」とされている。その具体的な取り組みの1つとして「どこでもMY病院」構想が挙げられ、平成22年8月以降、IT戦略本部における医療情報化に関するタスクフォースにより、実現についての議論がされてきた。

「どこでもMY病院」構想においては、調剤情報等を表すものとして患者個人が管理する「お薬手帳」に着目しているが、電子的に管理する場合、標準化された情報を使用することが必要であり、「電子版お薬手帳」の情報の標準化が課題であった。

そこで、JAHIS が「電子版お薬手帳データフォーマット仕様書」として医療機関・薬局から患者等に渡すお薬手帳のデータセットを検討し、技術文書としてまとめたものが、Ver.1.0である。

Ver.1.1では、紙媒体のお薬手帳における医科診療報酬点数、歯科診療報酬点数、および調剤報酬点数の算定要件として記載すべき項目を出力できるよう、不足していた項目を追加した。

Ver.2.0では、紙媒体のお薬手帳と同様に必要に応じて医療関係者が閲覧できるように、患者等から医療機関または薬局にお薬手帳の内容を電子データで提供するためのデータフォーマットを追加した。また、患者等が電子版お薬手帳の機器やアプリケーションを乗り換える場合なども考慮し、必要に応じて複数の調剤分をまとめて出力できるようにした。

Ver.2.1では、平成28年4月の診療報酬改定に基づき項目の追加を行った。

Ver.2.2では、電子版お薬手帳の導入件数の増加に鑑み、調剤システム等と電子版お薬手帳システムとの連携を行うため、本仕様書で定義しているファイルレイアウトを利用したファイル連携の方法を付録2に追加した。

Ver.2.3では、2019年5月の新元号への対応を行った。

Ver.2.4では、令和2年4月の診療報酬改定に基づき項目の追加を行った。

Ver.2.5では、令和5年3月に公表された「電子版お薬手帳ガイドラインについて」に基づき項目の追加を行った。

本仕様書は、お薬手帳データを交換するためのデータフォーマットのみを規定しており、電子版お薬手帳の考慮すべき機能や、お薬手帳データを蓄積したりする機器やアプリケーションが満たすべき要件について規定するものではない。そのため電子版お薬手帳の開発においては、本仕様書の利用とともに、平成27年度厚生労働省委託事業「電子版お薬手帳の適切な推進に向けた調査検討事業報告書」もあわせて参照されたい。

本仕様書を利用した電子版お薬手帳を医療機関・薬局が導入することは歓迎するところであるが、今後も関連する厚生労働省通知や診療報酬点数上の評価に変更が加えられることが予想されるため、診療報酬点数の算定に関する判断は、電子版お薬手帳を導入した医療機関・薬局が自己責任のもとで自ら行う必要がある。

また、お薬手帳そのもののあり方や電子版お薬手帳の運用のあり方は、社会情勢や関係機関の議論の中で変化していくことが想定され、本仕様書についても継続的に見直しを行っていく所存であるが、利用いただく時点で必ずしも適当でない内容である可能性もある。本仕様書の利用者はその点もご留意いただくとともに、お気づきの点をフィードバックして頂けるとありがたい。

本仕様書が「どこでもMY病院」構想の推進、ひいては患者の医療安全の向上、保健医療福祉サービスの向上を目指す医療情報標準化に多少とも貢献できれば幸いである。

2024年9月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

<< 告知事項 >>

本仕様書は関連団体の所属の有無に関わらず、仕様書の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本仕様書に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本仕様書ならびに本仕様書に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本仕様書の作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本仕様書についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

目次

1.はじめに.....	1
2.対象範囲.....	2
2.1. 医療機関・薬局から患者等への電子データの提供.....	2
2.2. 患者等から医療機関・薬局への電子データの提供.....	2
2.3. お薬手帳データの移行.....	3
3.CSV形式によるデータフォーマット仕様.....	4
3.1. バージョン情報.....	4
3.2. ファイルレイアウト.....	4
3.2.1. ファイル形式.....	4
3.2.2. データの型.....	4
3.2.3. ASCIIコード.....	5
3.2.4. 注意事項等.....	5
3.2.5. 情報グループとレコード情報.....	6
3.2.6. レコード出力順.....	7
3.2.7. レコード出力条件.....	9
3.2.8. 各種レコードレイアウト.....	11
3.2.9. 補足.....	24
別表 各種コード表.....	26
付録1 お薬手帳イメージと出力データ例.....	28
付録2 ファイルによる連携.....	36
付録3 作成者名簿.....	37

1.はじめに

平成22年8月以降、IT戦略本部において医療情報化に関するタスクフォースが設置され、全国どこでも自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用することを可能にする「どこでもMY病院」構想についてその工程表が示され、実現についての議論がされてきた。

「どこでもMY病院」構想では、それを具体化するものとして、患者が使用している薬の内容や過去に処方された薬を含めて把握することで、重複投薬や相互作用の防止に寄与し、医療安全の向上に資すると考えられる「電子版お薬手帳」が挙げられている。「電子版お薬手帳」においては、医療機関・薬局から患者等に提供される情報は全国どの医療機関・薬局からの情報であっても、個人が支障なく活用できるようにする必要がある。また、全国どの医療機関・薬局においても、患者等が持参した電子版お薬手帳の情報を、医師、薬剤師等の医療関係者が必要に応じて閲覧できる必要がある。

そのため、医療機関・薬局と患者等がお薬手帳情報を交換するための標準的なデータフォーマットを定めることが必要である。

このような状況を受けて、JAHIS では、医事コンピュータ部会 調剤システム委員会が中心となり医療システム部会の参画を得て、電子版お薬手帳のデータフォーマットの仕様を策定した。

データフォーマット策定の検討に当たっては、下記の基本的な考え方に基いている。

<基本的な考え方>

- ①どこでもMY病院構想では、お薬手帳データの情報提供の形態として「2次元バーコード」「ICカード搭載携帯電話」「ICカード」「オンライン」の4つが想定されていることから、本仕様書ではこれらで共通となるデータのフォーマットの策定のみを行うこととし、それぞれの情報提供形態による記録仕様についての策定は行わない。
- ②2次元バーコードで患者に提供し、患者が2次元バーコードを携帯電話等で読み取ることにより管理する提供形態が考えられていることから、携帯電話等での読み取りに支障がないようにするため、極力、必須で出力するデータ量を小さくすること。
- ③患者が2次元バーコードを携帯電話等で読み取って管理するにあたり、テキスト化されたデータを目視した時に、薬剤やその使用方法がある程度の範囲で判別できること。

本仕様書をまとめるにあたり、ご協力いただいた方々に心から感謝する。

2.対象範囲

本仕様書は、電子版お薬手帳を運用する際の標準的なデータフォーマットを提供するものである。

お薬手帳とは、患者が使用している薬剤を経時的に記録するための、患者の氏名、アレルギー歴、副作用歴、および既往歴等の情報を記載する欄を有する、患者が所有する薬剤の記録専用の手帳である。電子版お薬手帳はこれを電子化したものである。

現在、患者等が提示した紙媒体のお薬手帳を、医師または薬剤師等の医療関係者が閲覧し、アレルギー歴などの患者の基本情報や医薬品の服用履歴を確認する。さらに、患者が服用する医薬品等を調剤した上で、調剤した薬剤の名称等をお薬手帳に記載して、患者等に返却している。

本仕様書のお薬手帳データフォーマットは、上記の運用を電子データを用いて行うにあたり、医療機関・薬局と患者等の間でお薬手帳データを交換するためのデータフォーマットとして策定した。また、電子データを患者等が蓄積して利活用するにあたり、蓄積したデータを参照する携帯電話等の機器やアプリケーションを変更することが想定されるが、これに伴う電子データを移行するためのデータフォーマットとして使用することもできる。

以上を考慮して、本仕様書で規定するデータフォーマットを使用するのは、下記のケースを想定している。

- ①医療機関もしくは薬局が、調剤した薬剤の名称等をデータとして患者等に提供する。
- ②医療機関もしくは薬局において、医師や薬剤師等の医療関係者が患者等の許可を受け、お薬手帳の内容を閲覧するために、患者等が服用履歴などの情報をデータとして医療機関・薬局に提供する。
- ③患者等が、自らが蓄積した服用履歴などの電子データを、別の機器やアプリケーションに移行する。

本仕様書は、電子版お薬手帳の運用のあり方や考慮すべき機能について規定するものではない。また、医療機関・薬局と患者等が本データフォーマットに基づいた電子データを交換したり、蓄積したりする機器やアプリケーションが満たすべき要件についても規定するものではない。

2.1. 医療機関・薬局から患者等への電子データの提供

どこでもMY病院構想では、医療機関・薬局から患者等への情報提供の形態として「2次元バーコード」「ICカード搭載携帯電話」「ICカード」「オンライン」が想定されている。本データフォーマットは、このような情報提供形態におけるお薬手帳データの標準的なデータフォーマットとして策定している。ただし、それぞれの情報提供の形態における記録または出力の仕様については、本仕様書の対象範囲外とした。例えば、お薬手帳データを2次元バーコードで記録する場合のQRコード(※)等の2次元コードの種類やバージョン、ICカードに記録する場合の記録エリアについての仕様については、本仕様書で規定するものではない。

薬局において、QRコードを用いて患者に情報提供するユースケースを示す。

ーユースケース例(薬局の場合)ー

- ①患者が処方箋を持参し来局する。
- ②薬局では薬剤師が処方箋に基づき、調剤を行う。
- ③で調剤した医薬品等について、お薬手帳データを調剤明細書等にQRコードとして印字し、患者に提供する。
- ④患者はQRコードをカメラ付き携帯電話等で読み取り、携帯電話等のアプリケーションにお薬手帳データを取り込んで、来局の度にこれを蓄積する。
- ⑤患者は必要に応じて、携帯電話等のアプリケーションを使用して、蓄積された情報を参照する。

本データフォーマットは、医療機関の外来診療および薬局の調剤において、患者に医薬品等を提供した場合に、患者に提供する電子版お薬手帳のデータフォーマットとして検討した。よって医療機関による入院時の医薬品等の提供については、検討時に考慮しておらず、本データフォーマットの対象範囲外とする。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2.2. 患者等から医療機関・薬局への電子データの提供

本データフォーマットは、患者等が管理するお薬手帳情報を、必要に応じて医療機関・薬局に提供するためのデータフォーマットである。

マットとしての利用も想定している。

患者自身が携帯電話等にお薬手帳データを蓄積している場合、携帯電話等のアプリケーションを用いてお薬手帳データを表示し、医師や薬剤師などの医療関係者に閲覧してもらうことができる。しかしながら、自身が管理する携帯電話等を他人に預けることに抵抗を感じる場合が想定される。このような場合に、携帯電話等そのものを渡すのではなく、何らかのメディアや通信手段を介してお薬手帳データのみを渡す方法が考えられる。携帯電話等の画面にお薬手帳データの2次元バーコードを表示させて読み取ってもらう、または携帯電話等に付属しているICカードを介してデータを読み取ってもらうなどである。本データフォーマットは、このような場合に使用することが出来る。

薬局において、患者がQRコードを用いて薬剤師に情報提供するユースケースを示す。

－ユースケース例(薬局の場合)－

- ①患者がお薬手帳データを蓄積した携帯電話等を薬局に持参する。
- ②患者は、携帯電話等のアプリケーションでお薬手帳データを作成し、そのQRコードを生成して、携帯電話等の画面に表示させる。
- ③薬剤師が表示されたQRコードを2次元コードスキャナなどで読み取り、お薬手帳データの情報を表示させて閲覧する。

どこでもMY病院構想で示されている情報提供の形態の1つである「オンライン」では、情報の提供者が患者の依頼を受けて、電子版お薬手帳の運営主体のサーバにお薬手帳データを登録する。このような場合、医療機関・薬局では、患者の服用履歴等を閲覧するために、運営主体のサーバに登録されたお薬手帳データを参照できればよい。そのため、必ずしも運営主体のサーバが本データフォーマットで医療機関・薬局にお薬手帳データを提供する機能を備える必要はない。

2.3. お薬手帳データの移行

電子データを患者等の所有する携帯電話等に蓄積している場合など、携帯電話等の機器を変更する、または蓄積しているデータを参照するアプリケーションを変更することが考えられる。本データフォーマットは、このような場合に、蓄積したお薬手帳データを移行するための利用も想定している。

患者が携帯電話等の機器を変更した場合のユースケースを示す。

－ユースケース例(データ移行)－

- ①患者が携帯電話等のアプリケーションを用いて、蓄積しているデータからお薬手帳データを作成し、SD カードなどの記録メディアに記録する。
- ②別の携帯電話等の機器で、SD カードなどの記録メディアに記録されているお薬手帳データの取り込みを行う。

3.CSV 形式によるデータフォーマット仕様

3.1. バージョン情報

本仕様書は、メジャーバージョンとマイナーバージョンによるバージョン管理を行う。また、本データフォーマットにおいては、データがどの仕様書のバージョンに基づいて作成されたかを明確にするため、データの先頭行に仕様書のバージョンに対応したバージョン番号を含むバージョン情報を出力する。

法・制度の改定や市場の変化等により、本仕様書の内容に改訂の必要が生じた場合、一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 医事コンピュータ部会 調剤システム委員会が検討し、内容の修正、追加、削除の状況に応じてメジャーバージョン、マイナーバージョンの変更を行う。また仕様書のバージョンの変更に伴い、バージョン情報の最大2桁のバージョン番号の数値を「1」上げることとする。

なお、本仕様書「JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver. 2.6」において、本データフォーマットのバージョン情報は「JAHISTC08」とする(バージョン番号は「8」であり、「JAHISTC08」を出力する)。

バージョン情報を出力するバージョンレコードのフォーマットについては、「各種レコードレイアウト」のバージョンレコードを参照のこと。

3.2. ファイルレイアウト

3.2.1. ファイル形式

テキストファイルの形式は以下となる。

表 3-1 タグ形式の MS-DOS テキストファイル(ASCII または Shift-JIS データ)

	レコード No.	データ						レコード 終端	
バージョン情報		テキストデータ						CR	LF
情報	1	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			
	2	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			
	3	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			

ファイル終端	EOF								

なお、QRコード等で独自にそのファイルサイズを管理している場合は、その情報内のファイル終端のEOFは省略可能とする。

3.2.2. データの型

テキストファイルのデータの型は以下となる。

表 3-2 データ型

型	説明
9	数値
X	英数字、ピリオド、ハイフン
N	文字列(全角半角混在可)

3.2.3. ASCIIコード

文字コードの形式は以下となる。

表 3-3 文字コード

Code	ASCII
, (カンマ)	2Ch
CR	0Dh
LF	0Ah
EOF	1Ah

3.2.4. 注意事項等

データを記録する際には、下記の事項に注意する。

表 3-4 データ記録時の注意事項

項目	内容
使用制限文字	レセプト電算処理仕様に準拠(文字コードは JISX0201-1976 の8単位符号及び JISX0208-1983 附属書Iによる) 半角カンマは区切り文字以外で使用しない。 特に薬品名称等で半角カンマを使用している場合は必ず全角カンマに置き換える。 全角「■ (S-JIS 81A1)」は外字置き換え文字のため使用しない。
外字	外字は使用しない。可能な限り、JISX0201-1976 の8単位符号及び JISX0208-1983 附属書Iに規定されている文字に置き換えて記録することとし、置き換えができない場合は「■ (S-JIS 81A1)」に変換し記録する。
引用符	ダブル及びシングルコーテーションで囲まない。
レコードの省略	レコードを省略する場合は、レコードの先頭(レコード No.)からレコード終端(CRLF)まで、何も出力しない。
項目の省略	項目を省略する場合は、空文字とする。 半角スペース、全角スペースは出力しない。
項目に含まれるスペース	項目の先頭と末尾の半角スペースおよび全角スペースは出力しない。

3.2.5. 情報グループとレコード情報

情報グループとレコード情報の関係は以下となる。

表 3-5 情報グループとレコード情報

情報グループ	記録内容	レコード No.	レコード名称
バージョン情報	本データフォーマットのバージョンと、データの出力区分を記録する。		バージョンレコード
患者基本情報	患者の基本情報を記録する。	1	患者情報レコード
		2	患者特記レコード
要指導医薬品・一般用医薬品服用情報	要指導医薬品・一般用医薬品の服用を記録する。	3	要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード
		31	要指導医薬品・一般用医薬品成分レコード
お薬手帳メモ情報	登録したメモを記録する。	4	手帳メモレコード
調剤－医療機関情報	調剤を行った医療機関または薬局に関する情報を記録する。	5	調剤等年月日レコード
		11	調剤－医療機関等レコード
		15	調剤－医師・薬剤師レコード
処方－医療機関情報	処方箋を発行した医療機関の情報を記録する。	51	処方－医療機関レコード
処方－医師情報	処方箋を発行した医師の情報を記録する。	55	処方－医師レコード
薬品情報	調剤した医薬品等に関する情報を記録する。	201	薬品レコード
		281	薬品補足レコード
		291	薬品服用注意レコード
用法情報	用法に関する情報を記録する。	301	用法レコード
		311	用法補足レコード
処方服用注意情報	RP に対する服用上の注意を記録する。 (※1)	391	処方服用注意レコード
服用注意情報	1回の来院・来局の投薬全体に対する服用上の注意を記録する。	401	服用注意レコード
医療機関等提供情報	医療機関、薬局が患者等に対して提供する情報を記録する。	411	医療機関等提供情報レコード
残薬確認情報	医療機関、薬局が確認した患者の残薬の状況及びその理由等を記録する。	421	残薬確認レコード
備考情報	出力するデータに対する備考情報を記録する。	501	備考レコード
患者等記入情報	調剤情報に対して、患者やその家族などが医師もしくは薬剤師に伝えたい内容を記録する。	601	患者等記入レコード
かかりつけ薬剤師情報	患者のかかりつけ薬剤師の情報を記録する。	701	かかりつけ薬剤師レコード
制御情報	制御情報を記録する。	911	分割制御レコード

※1:RP とは処方指示の単位であり、その概念は「補足(1)RP 番号について」を参照のこと。

3.2.6. レコード出力順

以下のいずれかのパターンで出力する。

表 3-6 パターン1(処方－医師レコードを出力する場合)

情報グループ	レコード No.	レコード名称
バージョン情報		バージョンレコード
患者基本情報	1	患者情報レコード
	2	患者特記レコード
要指導医薬品・一般用医薬品服用情報	3	要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード
	31	要指導医薬品・一般用医薬品成分レコード
お薬手帳メモ情報	4	手帳メモレコード
調剤情報【1】 (来院、来局単位の情報グループ)		
調剤－医療機関情報	5	調剤等年月日レコード
	11	調剤－医療機関等レコード
	15	調剤－医師・薬剤師レコード
処方－医療機関情報	51	処方－医療機関レコード
処方－医師情報 [1]	55	処方－医師レコード
RP 情報(1)		
薬品情報 ①	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
	291	薬品服用注意レコード
薬品情報 ②	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
	291	薬品服用注意レコード
薬品情報 …		
用法情報	301	用法レコード
	311	用法補足レコード
	391	処方服用注意レコード
RP 情報(2)		
RP 情報 …		
処方－医師情報 [2]		
処方－医師情報 …		
服用注意情報	401	服用注意レコード
医療機関等提供情報	411	医療機関等提供情報レコード
残薬確認情報	421	残薬確認レコード
備考情報	501	備考レコード
患者等記入情報	601	患者等記入レコード
調剤情報【2】(※1)		
調剤情報【n】…(繰り返し)		
かかりつけ薬剤師情報	701	かかりつけ薬剤師レコード
制御情報	911	分割制御レコード

※1:次ページの“※1:…”の説明を参照。

表 3-7 パターン2(処方—医師レコードを出力しない場合)

情報グループ	レコード No.	レコード名称
バージョン情報		バージョンレコード
患者基本情報	1	患者情報レコード
	2	患者特記レコード
要指導医薬品・一般用医薬品 服用情報	3	要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード
	31	要指導医薬品・一般用医薬品成分レコード
お薬手帳メモ情報	4	手帳メモレコード
調剤情報【1】 (来院、来局単位の情報グループ)		
調剤—医療機関情報	5	調剤等年月日レコード
	11	調剤—医療機関等レコード
	15	調剤—医師・薬剤師レコード
処方—医療機関情報	51	処方—医療機関レコード
RP 情報(1)		
薬品情報 ①	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
	291	薬品服用注意レコード
薬品情報 ②	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
	291	薬品服用注意レコード
薬品情報…		
用法情報	301	用法レコード
	311	用法補足レコード
	391	処方服用注意レコード
RP 情報(2)		
RP 情報…		
服用注意情報	401	服用注意レコード
医療機関等提供情報	411	医療機関等提供情報レコード
残薬確認情報	421	残薬確認レコード
備考情報	501	備考レコード
患者等記入情報	601	患者等記入レコード
調剤情報【2】(※1)		
調剤情報【n】…(繰り返し)		
かかりつけ薬剤師情報	701	かかりつけ薬剤師レコード
制御情報	911	分割制御レコード

※1:来院日や来局日が異なる複数の調剤情報をまとめて出力する場合、調剤情報グループ(レコード No.5 ~601)を調剤等年月日が新しいもの【1】から古いもの【n】の順で、繰り返して出力する。

医療機関・薬局から患者にデータを提供する場合において、このように複数の調剤情報をまとめて出力するケースとしては、患者が初めて電子版お薬手帳を運用する時や、お薬手帳データを紛失した時など、患者から複数日の調剤分のデータの提供の要求があった場合を想定している。通常、医療機関または薬局において紙媒体のお薬手帳に記載される内容は、当日の来院や来局での調剤情報に限られる。したがって患者から複数日の調剤分のデータの提供の要求がない場合には、当日分の調剤情報のみのデータを提供すること。

3.2.7. レコード出力条件

各レコードの出力条件については、下記の表のとおりである。

ただし、“必須出力”とはお薬手帳データとしての必要最低限の構成要素を示している。“省略可”については、出力できない場合がある可能性を考慮し、出力しないことが許可されている。しかしながら、電子版お薬手帳のあるべき運用を考えた場合、常に出力が不要ということではない。“省略可”のレコードの出力が必要かどうかは、本来、電子版お薬手帳のあるべき運用の中で決められることに注意する。あるべき運用については本仕様書では規定していない。

表中のレコード出力条件欄の表記については、下記のとおりである。

医療機関等⇒患者等：医療機関・薬局から患者やその家族などに情報を提供する場合

患者等⇒医療機関等：患者やその家族などから医療機関・薬局に情報を提供する場合

表 3-8 レコード出力条件

レコード No.	レコード名称	レコード出力条件		同一No.レコード出力
		医療機関等 ⇒患者等	患者等⇒ 医療機関等	
	バージョンレコード	必須出力	必須出力	不可
1	患者情報レコード	省略可	必須出力	不可
2	患者特記レコード	省略可	省略可	可
3	要指導医薬品・一般用医薬品 服用レコード	省略可	省略可	可
31	要指導医薬品・一般用医薬品 成分レコード	省略可	省略可	可
4	手帳メモレコード	省略可	省略可	可
5	調剤等年月日レコード	必須出力	省略可	1調剤情報に1レコード
11	調剤－医療機関等レコード	必須出力	省略可	1調剤情報に1レコード
15	調剤－医師・薬剤師レコード	省略可	省略可	1調剤情報に1レコード
51	処方－医療機関レコード	必須出力 (※1)(※2)	省略可	1調剤情報に1レコード
55	処方－医師レコード	省略可 (※1)(※2) (※3)	省略可	可
201	薬品レコード	必須出力 (※2)	省略可	1RPに複数レコード出力可
281	薬品補足レコード	省略可 (※2)	省略可	1薬品に複数レコード出力可
291	薬品服用注意レコード	省略可 (※2)	省略可	1薬品に複数レコード出力可
301	用法レコード	必須出力 (※2)	省略可	1RPに1レコード
311	用法補足レコード	省略可 (※2)	省略可	1用法に複数レコード出力可
391	処方服用注意レコード	省略可 (※2)	省略可	1RPに複数レコード出力可
401	服用注意レコード	省略可 (※2)	省略可	可
411	医療機関等提供情報レコード	省略可	省略可	可
421	残薬確認レコード	省略可	省略可	可
501	備考レコード	省略可	省略可	可

601	患者等記入レコード	省略可	省略可	可
701	かかりつけ薬剤師レコード	省略可	省略可	可
911	分割制御レコード	省略可(※4)	省略可(※4)	不可

※1:薬局で調剤を行った場合にのみ出力する。

※2:医薬品等の提供を行わないで患者にデータを提供する場合は、出力しない。

(「補足(医薬品等の提供を行わずに患者等に情報提供を行う場合について)」を参照のこと。)

※3:「レコード出力順」でパターン1の場合は、全ての処方-医師レコードを必ず出力する。

パターン2の場合は出力しない。

※4:データを分割した場合のみ必ず出力する。(データを分割しない場合は出力しない)

3.2.8. 各種レコードレイアウト

表中の必須欄の表記については、下記のとおりである。

医療機関等⇒患者等：医療機関・薬局から患者やその家族などに情報を提供する場合

患者等⇒医療機関等：患者やその家族などから医療機関・薬局に情報を提供する場合

◎(必須出力):レコードが出力された場合に、必須で出力しなくてはならない項目を示す。

無印(省略可):レコードが出力された場合に、必ずしも出力が必要でない項目を示す。

また、◎(必須出力)は、レコードが出力された場合に必要な項目であることを示しており、レコードそのものが必須、省略可とは意味が異なることに注意する。レコードそのものの出力条件については、「レコード出力条件」を参照のこと。

表 3-9 バージョンレコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等⇒ 医療機関等	
	バージョン情報	X	9	◎	◎	“JAHISTC”+(バージョン 半角数字) ※9桁固定とするため、バージョンが1桁の場合は「0」を付加することとする。
	出力区分	9	1	◎	◎	1:医療機関・薬局から患者等に情報を提供する場合 2:患者等から医療機関・薬局に情報を提供する場合
有効レコード出力サンプル		バージョン番号8(医療機関・薬局から患者等に情報を提供)				JAHISTC08,1
		バージョン番号12(患者等から医療機関・薬局に情報を提供)				JAHISTC12,2

表 3-10 患者情報レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等⇒ 医療機関等	
1	患者氏名	N	40	◎	◎	全角、半角の混在は不可 出来る限り姓と名の間に空白を1桁入れて、それ以外の空白は詰めて記録 ※外国人の場合など姓と名の区別がない場合や、ミドルネームがある場合においては、この限りではなく、「空白なし」および「複数の空白」での記録も可とする。 ※患者氏名に外字が含まれる場合は、全てカナで記録する。
	患者性別	9	1	◎	◎	1:男、2:女
	患者生年月日	X	8	◎	◎	年月日 西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照
	患者郵便番号	X	8			患者住所の郵便番号 数字3桁目と4桁目の間を“-”(ハイフン)で区切る記録も可とする。
	患者住所	N	800			患者住所(全角半角混在可)
	患者電話番号	X	13			患者電話番号 市外局番、市内局番を“-”(ハイフン)で区切る記録も可とする。

	緊急連絡先	N	800		緊急連絡先氏名、緊急連絡先住所、緊急連絡先電話番号等を記録(全角半角混在可)	
	血液型	N	20		血液型(全角半角混在可)	
	体重	X	7		体重 kg で記録 整数 3 桁+小数点+小数 3 桁 整数の前の ZERO 及び小数の後の ZERO は省略、小数 ZERO なら小数点も省略、整数 ZERO なら ZERO を 1 桁残す 最大桁数出力例:123.456 整数のみ出力例:67 小数のみ出力例:0.85 混在出力例:23.4	
	患者氏名カナ	N	40		全角、半角、ひらがな、カタカナの混在は不可。 出来る限り姓と名の上に空白を 1 桁入れて、それ以外の空白は詰めて記録 ※外国人の場合など姓と名の区別がない場合や、ミドルネームがある場合においては、この限りではなく、「空白なし」および「複数の空白」での記録も可とする。	
有効レコード出力サンプル	患者氏名(漢字)					1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,,
	患者氏名(半角カナ)					1,ｽｽﾞｷ ﾀﾛｳ,1,S330303,,,,,,
	患者氏名(全角カナ)					1,ｽｽﾞｷ ﾀﾛｳ,1,S330303,,,,,,
	性別					1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,,
	生年月日(和暦)					1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,,
	患者郵便番号					1,鈴木 太郎,1,S330303,105-0004,東京都港区新橋 1 丁目△番 ○×ビル 5 階,,,,
	患者住所					1,鈴木 太郎,1,S330303,,東京都港区新橋 1 丁目△番 ○×ビル 5 階,,,,
	患者電話番号					1,鈴木 太郎,1,S330303,,東京都港区新橋 1 丁目 1 番 ○×ビル 5 階,03-1234-1234,,,,
	緊急連絡先					1,鈴木 太郎,1,S330303,,東京都港区新橋 1 丁目 1 番 ○×ビル 5 階, 03-1234-1234,鈴木 花子 03-2345-2345,,
	血液型					1,鈴木 太郎,1,S330303,,東京都港区新橋 1 丁目 1 番 ○×ビル 5 階, 03-1234-1234,鈴木 花子 03-2345-2345,B+,,
	体重					1,鈴木 一郎,1,S330303,,東京都港区新橋 1 丁目 1 番 ○×ビル 5 階, 03-1234-1234,鈴木 花子 03-2345-2345, B +,63.7,
患者氏名カナ(全角)					1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,,ｽｽﾞｷ ﾀﾛｳ	

表 3-11 患者特記レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
2	患者特記種別	9	1	◎	◎	1:アレルギー歴、2:副作用歴、3:既往歴、9:その他
	患者特記内容	N	120	◎	◎	患者特記内容(全角半角混在可)
	レコード作成者(※1)	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		アレルギー歴				2,1,乳製品,1
		副作用歴				2,2,セフェム系(発熱),1
		既往歴				2,3,狭心症(2011年~),1
		その他				2,9,嚥下困難のため、口腔内崩壊錠を使用する,1

※1:「レコード作成者」は、レコードに記録されている情報が誰によって作成されたかを出力する。ここで記録する「1:医療関係者」および「2:患者等」については、それぞれの明確な範囲を規定していないが、一般的には次のように記録されることを想定している。

「1:医療関係者」:

医療機関・薬局など医療関係機関で作成された情報、または医師、薬剤師、看護師等によりアプリケーション等に入力された情報の場合。

「2:患者等」:

患者自身やその家族などによってアプリケーション等に入力された情報、またはこれらにより修正された情報の場合。

「8:その他」:

上記以外によってアプリケーション等に入力された情報の場合。訪問介護員等の介護従事者が入力する場合はこれを指定する。

「9:不明」:

作成者を特定できない場合。本項目が定義されていない旧バージョンのデータを、本バージョンで出力する場合は、これを指定する。

以降、各レコードに記載されている項目「レコード作成者」についても同様である。

表 3-12 要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
3	薬品名称	N	120	◎	◎	要指導医薬品・一般用医薬品の名称(全角半角混在可)
	服用開始年月日	X	8			服用を開始した日を記録 西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照
	服用終了年月日	X	8			服用を終了した日を記録 西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
	要指導医薬品・一般用医薬品レコード通番	9	3			要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード内での通番(1~) 要指導医薬品・一般用医薬品成分レコードを記録する場合は必須
	JANコード	9	13			JANコードを記録
有効レコード出力サンプル			20160411 に服用		3,パファリンA,20160411,20160411,2,,	
			20160411 から 20160414 まで服用		3,パファリンA,20160411,20160414,2,,	
			20160411 から服用		3,パファリンA,20160411,,2,,	
			20160414 まで服用		3,パファリンA,,20160414,2,,	
			服用日不明		3,パファリンA,,2,,	
			要指導医薬品・一般用医薬品の JAN コードあり		3, ル ル ア タ ッ ク E X 顆粒 ,20240221,20240221,2,1,4987107609229	

表 3-13 要指導医薬品・一般用医薬品成分レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
31	要指導医薬品・一般用医薬品レコード通番	9	3	◎	◎	該当レコード 3 の要指導医薬品・一般用医薬品レコード通番をセット
	成分名	N	256	◎	◎	要指導医薬品・一般用医薬品の成分名(全角半角混在可)
	コード種別	9	1	◎	◎	1:コードなし、2:成分名コード(セルマゲイケーションデータバースエンター)
	成分コード	X	20			「コード種別」が「1.コードなし」の場合は、省略する。
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル				31,1,イブプロフェン,2,1149001,2		

表 3-14 手帳メモレコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
4	手帳メモ情報	N	400	◎	◎	電子版お薬手帳で管理するメモを記録する。 (全角半角混在可)
	メモ入力年月日	X	8			メモを入力した日を記録 西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		コメント			4,予防接種を受けた,H280411,2	

表 3-15 調剤等年月日レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
5	調剤等年月日	X	8	◎	◎	西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照 薬局で調剤を行い出力する場合は「調剤年月日」を記録し、医療機関で調剤を行い出力する場合は「処方年月日」を記録 医薬品等の提供を行わずに、医療機関・薬局から患者等に情報を提供する場合には、情報提供を行った年月日を記録
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		西暦			5,20160411,1	
		和暦			5,H280411,1	

表 3-16 調剤-医療機関等レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
11	医療機関等名称	N	120	◎	◎	医療機関または薬局名称(全角半角混在可)
	医療機関等都道府県	X	2	◎		医療機関または薬局の所在する都道府県コード(別表2)を記録
	医療機関等点数表	X	1	◎		医療機関が使用する点数表コードを記録(別表3 1:医科、3:歯科、4:調剤)
	医療機関等コード(※1)	X	7	◎		定められた医療機関コードまたは薬局コードを記録 ※遡及指定申請中の場合は省略可とする。 0 から開始される場合は省略せず、7 桁固定で記録
	医療機関等郵便番号	X	8			医療機関または薬局住所の郵便番号 数字3桁目と4桁目の間を“-”(ハイフン)で区切る記録も可とする。
	医療機関等住所	N	800			医療機関または薬局の住所(全角半角混在可)
	医療機関等電話番号	X	13			医療機関または薬局の電話番号 市外局番、市内局番を“-”(ハイフン)で区切る記録も可とする。
レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明	
有効レコード出力サンプル	医療機関等名称(薬局の場合)		11, 株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,,1			
	医療機関等郵便番号		11, 株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,105-0004,東京都港区新橋1丁目11番 ○×ビル 5階,,1			
	医療機関等住所		11, 株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,東京都港区新橋1丁目11番 ○×ビル 5階,,1			
	医療機関等電話番号		11, 株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,東京都港区新橋1丁目11番 ○×ビル 5階,03-3456-3456,1			

※1:“医療機関コード”は健康保険以外の調剤でも、健康保険のコードを使用すること。

表 3-17 調剤－医師・薬剤師レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
15	医師・薬剤師氏名	N	40	◎	◎	医師・薬剤師氏名(全角半角混在可) 出来る限り姓と名の間に空白を1桁入れて、 それ以外の空白は詰めて記録 ※実際に調剤を行った薬剤師(診療所等で薬 剤師が調剤を行っていない場合は医師)を 記録する。
	医師・薬剤師連絡先	N	800			医師・薬剤師の連絡先を記録(全角半角混在 可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル						15,工業会 次郎,03-4567-4567,1

表 3-18 処方－医療機関レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
51	医療機関名称	N	120	◎	◎	医療機関名称(全角半角混在可)
	医療機関都道府県	X	2	◎		医療機関の所在する都道府県コード(別表2) を記録
	医療機関点数表	X	1	◎		医療機関が使用する点数表コードを記録(別 表3 1:医科、3:歯科)
	医療機関コード	X	7	◎		医療機関について定められたコードを記録 ※遡及指定申請中の場合は省略可とする。 0 から開始される場合は省略せず、7 桁固定 で記録
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル						51, 医療法人 工業会病 院,13,1,1234567,1

表 3-19 処方－医師レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
55	医師氏名	N	40	◎	◎	医師氏名(全角半角混在可) 出来る限り姓と名の間に空白を1桁入れて、 それ以外の空白は詰めて記録 当レコード以降、次に処方－医師レコードが 出現するまでの間の「RP 内 薬品情報グル ープ」「RP 内 用法情報グループ」は、当レ コードに記録された医師により処方されたとみ なす。
	診療科名	N	80			診療科名(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル						診療科省略 診療科出力
						55,工業会 次郎,,1 55,工業会 次郎,内科,1

表 3-20 薬品レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
201	RP 番号	9	3	◎	◎	調剤した処方番号(1~) ※必ずしも同一服用時点を同じRP 番号にまとめる必要はない。
	薬品名称	N	120	◎	◎	医薬品、医療材料、非保険薬(全角半角混在可)
	用量	X	12	◎		内服:1 日量、内滴:全量、屯服:1 回量、外用:全量、注射:全量、浸煎薬:1 日量、湯薬:1 日量、材料:全量、その他:全量 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「1 回量」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録 整数 6 桁+小数点+小数 5 桁 整数の前 ZERO 及び小数の後 ZERO は省略、小数 ZERO なら小数点も省略、整数 ZERO なら ZERO を 1 桁残す 最大桁数出力例:123456.78901 整数のみ出力例:100 小数のみ出力例:0.25 混在出力例:1.5
	単位名	N	12	◎		用量に伴った単位(全角半角混在可)
	薬品コード種別	9	1	◎		1:コードなし,2:レセプト電算コード,3:厚労省コード,4:YJコード,6:HOTコード
	薬品コード(※1)	X	13	◎		上記種別に対応した薬品コード 「薬品コード種別」が「1:コードなし」の場合は、省略する。 薬品コード種別が「2:レセプト電算コード」の場合、長期収載品の選定療養に係る対象医薬品であっても、医療上必要と認められた場合の薬価に対応するレセプト電算コードを記録する。
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
	一般名	N	120			医薬品の一般名(全角半角混在可)
	一般名コード種別	9	1			1:コードなし,2:一般名コード
	一般名コード	X	12			「一般名コード種別」が「1:コードなし」の場合は、省略する。
有効レコード出力サンプル	コード省略					201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,1,,1,,
	レセプト電算コード名称出力					201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,2,612170709,1,,
	厚労省コード					201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,3,2171022F1029,1,,
	YJコード					201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,4,2171022F1029,1,,

	HOTコード9桁	201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,6,103297001,1,,
	医療材料	201,1,ペンニードル30Gテーパー,14,本,1,,1,,
	非保険薬	201,1,バイアグラ,1,錠,1,,1,,
	内服薬(散剤)	201,1,重カマ「ヨシダ」,1,g,2,610409004,1,,
	内服薬(散剤)	201,1,ユーエフティE配合顆粒T100 100mg(テガフル相当量),3,包,2,621929901,1,,
	内服薬(水剤)	201,1,エンシュア・リキッド,1500,mL,2,613250027,1,,
	外用薬(貼付剤)	201,1,モーラステープ20mg 7cm×10cm,7,枚,2,620007805,1,,
	内服薬(特殊シート)	201,1,ランサップ400,1,シート,2,610462048,1,,
	内服薬(特殊シート)	201,1,ヤーズ配合錠,1,錠,2,621982201,1,,
	一般名コードあり	201,1,ノルバスク錠2.5mg,1,錠,2,612170709,1,【般】アムロジピン錠2.5mg,2,2171022F1ZZZ

※1:“薬品コード”について、極力記録するように努めること。

表3-21 薬品補足レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等⇒ 医療機関等	
281	RP番号	9	3	◎	◎	該当レコード201のRP番号をセト
	薬品補足情報	N	100	◎	◎	薬品にかかる補足情報を出力(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		不均等服用				281,1,朝1錠、夕2錠,1
		1回服用量				281,1,1回2錠,1
		粉碎				281,1,粉碎,1

表3-22 薬品服用注意レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等⇒ 医療機関等	
291	RP番号	9	3	◎	◎	該当レコード201のRP番号をセト
	内容	N	400	◎	◎	薬品にかかる注意事項を出力(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内容				291,1,グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。、1
		内容				291,1,患部を清潔にし、適量を塗ってください。、1

表 3-23 用法レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
301	RP 番号	9	3	◎	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	用法名称	N	100	◎ (※)	◎	(全角半角混在可) ※薬局が出力する場合には、剤形コードが「材料」、「その他」の場合を除き必須出力とする。医療機関のシステムにおいて、出力が困難な場合は省略可とする。
	調剤数量	9	3	◎		内服:投与日数、内滴:「1」固定、屯服:投与回数、外用:「1」固定、注射「1」固定、浸煎薬:投与日数、湯薬:投与日数、材料:「1」固定、その他:「1」固定 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「投与回数」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	調剤単位	N	100	◎		内服:日分、内滴:調剤、屯服:回分、注射:調剤、外用:調剤、浸煎:日分、湯薬:日分、材料:調剤、その他:調剤 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「回分」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	剤形コード	X	2	◎		該当する剤形コード(別表4)を記録 非保険薬、保険外あるいは医療機関で剤形が判断できない場合は「10.その他」として記録 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	用法コード種別	9	1	◎		1:コードなし,2:JAMI 用法コード(※),3~:将来統一コードを想定 ※「JAMI 用法コード」とは日本医療情報学会標準である「処方・注射オーダ標準用法規格」にて定められたコード体系である。
	用法コード	X	16	◎		上記種別に対応した用法コード 「用法コード種別」が「1.コードなし」の場合は省略する。
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内服				301,1,毎食後服用,3,日分,1,1,,1
		外用				301,1,右足に塗布,1,調剤,5,1,,1
		材料				301,1,,1,調剤,9,1,,1

	保険外	301,1,,1,調剤,10,1,,1
--	-----	---------------------

表 3-24 用法補足レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 →患者等	患者等→ 医療機関等	
311	RP 番号	9	3	◎	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	用法補足情報	N	100	◎	◎	用法にかかる補足情報を出力(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		漸減				311,1,RP1服用後,1
		一包化				311,1,一包化,1
		隔日				311,1,奇数日,1
		粉碎				311,1,粉碎,1
		用法の続き				311,1,透析日に服用,1
		部位				311,1,両眼,1
		1回使用量				311,1,1滴,1

表 3-25 処方服用注意レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 →患者等	患者等→ 医療機関等	
391	RP 番号	9	3	◎	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	内容	N	400	◎	◎	RPにかかる注意事項を出力(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内容				391,1,飲みやすいように混合して一包化しています。、1
		内容				391,1,車の運転は控えてください。、1

表 3-26 服用注意レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 →患者等	患者等→ 医療機関等	
401	内容	N	400	◎	◎	投薬全体にかかる注意事項を出力(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内容				401,次の薬剤は一緒に服用すると相互作用が出ることがあります。服用中に体調の変化があった場合には、服用を中止し、直ちに医師の診察を受けてください。(ペルジピン錠20mg、バイアスピリン錠100mg),1
		内容				401,他の薬を併用する際は、相談してください。、1

表 3-27 医療機関等提供情報レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
411	内容	N	400	◎	◎	医療機関・薬局から患者に提供する情報(全角半角混在可)
	提供情報種別	9	2	◎	◎	30:入院中に副作用が発現した薬剤に関する情報 31:退院後の療養を担う保険医療機関での投薬又は保険薬局での調剤に必要な服薬の状況及び投薬上の工夫に関する情報 99:その他
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内容		411,嚥下困難が見られるため、錠剤は粉碎して投与する。、31,1		

表 3-28 残薬確認レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
421	残薬内容	N	400	◎	◎	医療機関・薬局が確認した患者の残薬の状況及び理由などを記録。(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		内容		421,ロキソプロフェンが 10 錠残薬。症状改善による自己判断で服用中断。、1		

表 3-29 備考レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
501	備考情報	N	400	◎	◎	出力内容は特に制限しない。(全角半角混在可)
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9:不明
有効レコード出力サンプル		コメント		501,正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。、1		
		薬局HP		501, http://www.xxxpharmacy.com/top/index.html 、1		

表 3-30 患者等記入レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
601	患者等記入情報	N	400	◎	◎	患者やその家族などから医師もしくは薬剤師に伝えたい内容を記録。(全角半角混在可)
	入力年月日	X	8			内容を入力した日を記録 西暦:8桁 YYYYMMDD 和暦:7桁 GYYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照

有効レコード出力サンプル	コメント	601,飲み始めてから、昼に眠くなるようになった。、H280411
--------------	------	-----------------------------------

表 3-31 かかりつけ薬剤師レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
701	かかりつけ薬剤師氏名	N	40	◎	◎	患者が同意したかかりつけ薬剤師の氏名(全角半角混在可) 出来る限り姓と名の間に空白を 1 桁入れて、 それ以外の空白は詰めて記録
	勤務先薬局名称	N	120	◎	◎	かかりつけ薬剤師の勤務する薬局名称を記録(全角半角混在可)
	連絡先	N	800	◎	◎	かかりつけ薬剤師の連絡先を記録(全角半角混在可)
	担当開始日	X	8			かかりつけ薬剤師の担当開始日 西暦:8 桁 YYYYMMDD 和暦:7 桁 GYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を 参照
	担当終了日	X	8			かかりつけ薬剤師の担当終了日 西暦:8 桁 YYYYMMDD 和暦:7 桁 GYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を 参照
	レコード作成者	9	1	◎	◎	1:医療関係者、2:患者等、8:その他、9: 不明
有効レコード出力サンプル						701,工業会 次郎,工業会薬局 駅前店,03-3506-8010,H280411,,1

表 3-32 分割制御レコード

No.	項目名称	型	バイト	必須		備考
				医療機関等 ⇒患者等	患者等→ 医療機関等	
911	データ固有 ID	9	14	◎	◎	データ個別の ID 番号を記録する。
	分割数	9	3	◎	◎	分割したデータの個数を記録する。
	データ連番	9	3	◎	◎	データ固有 ID に対する分割されたデータの 連番(1~999)を記録。
有効レコード出力サンプル		3分割時の2番目のデータ				911,12345678901234,3,2

3.2.9. 補足

(1) RP番号について

本仕様書における RP 番号とは、いわゆる「処方番号」であり、処方指示ごとに異なる番号を1から順に付与する。

同じ RP 番号が付与されている全ての薬品レコード(レコード No.201)については、同じ RP 番号が付与されている用法レコード(レコード No.301)により表わされる用法および調剤数量(日数・回数等)が示される。

但し、薬品補足レコード(レコード No.281)及び用法補足レコード(レコード No.311)は省略レコード扱いとなっており、必要に応じて記録するものである。

また、処方服用注意レコード(レコード No.391)は、対応する RP 番号の処方指示に関する服用上の注意を、必要に応じて記録するものである。

RP 番号の使用例

ワカシロ 5mg	4 C	[RP 番号:1](1つ目の処方) 201,1,ワカシロ 5mg,4,C,2,620004992,1,,, ^{C_RF} 201,1,ワカシロ配合錠,4,錠,2,620425801,1,,, ^{C_RF} 301,1,[分2 朝夕食後服用],5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}
ワカシロ配合錠	4 錠	
[分2 朝夕食後服用]	×5 日分	
アドルボン原末	1.5 g	
(局)アドルボン錠	1.5 g	
バニオン散	2 g	
[分3 毎食後服用]	×5 日分	[RP 番号:2](2つ目の処方) 201,2,アドルボン原末,1.5,g,2,620008284,1,,, ^{C_RF} 201,2,(局)アドルボン錠,1.5,g,2,612310013,1,,, ^{C_RF} 201,2,バニオン散,2,g,2,620007148,1,,, ^{C_RF} 301,2,[分3 毎食後服用],5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}

(2) 医薬品等の提供を行わずに患者等に情報提供を行う場合について

医療機関・薬局において、調剤による医薬品等の提供を一切行わず、服薬指導などの情報提供のみを行う場合は、No.51(処方-医療機関レコード)~No.401(服用注意レコード)は記録できない。

この場合に患者に提供する情報は、No.411(医療機関等提供情報レコード)に記録する。

このとき、No.5(調剤等年月日レコード)には、情報提供を行った日を記録する。また、No.11(調剤-医療機関等レコード)については情報を提供した医療機関・薬局を、No.15(調剤-医師・薬剤師レコード)については、情報を提供した医師・薬剤師をそれぞれ記録すること。

(3) データを分割した場合の出力方法について

情報提供の形態によっては、記録可能な容量を超えてしまい、お薬手帳データを出力できない場合がある。

例えば2次元バーコードによる情報提供においてQRコードを用いる場合、QRコードの運用上の印字スペースや携帯電話等での読み取り可能なセルサイズなどを考慮した上で、出力するシンボルのバージョン、誤り訂正レベル、シンボルの分割数などを指定することにより、これに応じた記録可能な最大容量が決定される。この記録可能な最大容量に収まりきらない場合、QRコードとして出力することができない。

このようにそのままでは出力できない場合に限り、以下のようにデータ自体を分割して出力する。

①データの分割は、レコード単位に行う。

※任意のレコードで分割することができる(レコードの途中で分割することはできない)。

②全ての分割されたデータの先頭にバージョンレコードを出力する。

③分割した全てのデータに分割制御レコード(レコード No.911)を出力する。

ここで述べているデータの分割とは、お薬手帳データそのものの分割であり、情報提供形態が2次元バーコードの場合におけるQRコードの「コード連結機能」を用いたシンボルの分割とは無関係であることに注意すること。

分割されたそれぞれのお薬手帳データを、さらに「コード連結機能」により分割したシンボルとして出力することも可能である。

分割データの出力例(2分割)

元データ

JAHISTC08,1^{C_RL_F}
 1,鈴木 太郎,1,19580303,,,,,,^{C_RL_F}
 5,R020410,1^{C_RL_F}
 11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,,,1^{C_RL_F}
 15,薬剤師 太郎,,1^{C_RL_F}
 51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1^{C_RL_F}
 55,工業会 次郎,内科,1^{C_RL_F}
 201,1,コカ[°]ンカ[°]ル5mg,6,C,2,620004992,1,,,^{C_RL_F}
 201,1,7[°]ル[°]リ配合錠,6,錠,2,620425801,1,,,^{C_RL_F}
 301,1,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1^{C_RL_F}
 201,2,アド[°]ル[°]ン原末,1.5,g,2,620008284,1,,,^{C_RL_F}
 201,2,(局)タカ[°]ル[°]ン[°]紅[°]イ,1.5,g,2,612310013,1,,,^{C_RL_F}
 201,2,バ[°]ニ散,2,g,2,620007148,1,,,^{C_RL_F}
 301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1^{C_RL_F}
 201,3,イジ[°]ンガ[°]ル液7%,60,ml,2,620008969,1,,,^{C_RL_F}
 301,3,【1日3~4回 うがい】,1,調剤,5,1,,1^{C_RL_F}
 201,4,ノホ[°]ラヒ[°]ット[°]注[°] ア[°]ンフィル 300 単位 ,2,
筒,2,620008894,1,,,^{C_RL_F}
 301,4,【1日2回 朝14単位 夕6単位】,1,調剤,4,1,,1^{C_RL_F}
 201,5,ア[°]ンニート[°]ル 30G/8mm(ノホ[°]),60,
本,2,710010093,1,,,^{C_RL_F}
 301,5,,1,調剤,9,1,,1^{C_RL_F}
 55,佐藤 三郎,皮膚科,1^{C_RL_F}
 201,6,リデ[°]ン-VG軟膏0.12%,10,g,2,662640418,1,,,^{C_RL_F}
 301,6,【患部に塗布】,1,調剤,5,1,,1^{C_RL_F}
 201,7,容器,1,個,1,1,,^{C_RL_F}
 301,7,,1,調剤,10,1,,1^{C_RL_F}
 501,正しい飲み方は薬袋等をご覧ください,,1^{C_RL_F}



分割データ(その1)

JAHISTC08,1^{C_RL_F}
 1,鈴木 太郎,1,19580303,,,,,,^{C_RL_F}
 5,R020410,1^{C_RL_F}
 11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,,,1^{C_RL_F}
 15,薬剤師 太郎,,1^{C_RL_F}
 51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1^{C_RL_F}
 55,工業会 次郎,内科,1^{C_RL_F}
 201,1,コカ[°]ンカ[°]ル5mg,6,C,2,620004992,1,,,^{C_RL_F}
 201,1,7[°]ル[°]リ配合錠,6,錠,2,620425801,1,,,^{C_RL_F}
 301,1,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1^{C_RL_F}
 201,2,アド[°]ル[°]ン原末,1.5,g,2,620008284,1,,,^{C_RL_F}
 201,2,(局)タカ[°]ル[°]ン[°]紅[°]イ,1.5,g,2,612310013,1,,,^{C_RL_F}
 201,2,バ[°]ニ散,2,g,2,620007148,1,,,^{C_RL_F}
 911,12345678901234,2,2,1^{C_RL_F}

分割データ(その2)

JAHISTC08,1^{C_RL_F}
 301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1^{C_RL_F}
 201,3,イジ[°]ンガ[°]ル液7%,60,ml,2,620008969,1,,,^{C_RL_F}
 301,3,【1日3~4回 うがい】,1,調剤,5,1,,1^{C_RL_F}
 201,4,ノホ[°]ラヒ[°]ット[°]注[°] ア[°]ンフィル 300 単位 ,2,
筒,2,620008894,1,,,^{C_RL_F}
 301,4,【1日2回 朝14単位 夕6単位】,1,調剤,4,1,,1^{C_RL_F}
 201,5,ア[°]ンニート[°]ル 30G/8mm(ノホ[°]),60,
本,2,710010093,1,,,^{C_RL_F}
 301,5,,1,調剤,9,1,,1^{C_RL_F}
 55,佐藤 三郎,皮膚科,1^{C_RL_F}
 201,6,リデ[°]ン-VG軟膏0.12%,10,g,2,662640418,1,,,^{C_RL_F}
 301,6,【患部に塗布】,1,調剤,5,1,,1^{C_RL_F}
 201,7,容器,1,個,1,1,,^{C_RL_F}
 301,7,,1,調剤,10,1,,1^{C_RL_F}
 501,正しい飲み方は薬袋等をご覧ください,,1^{C_RL_F}
 911,12345678901234,2,2,1^{C_RL_F}

(4)お薬手帳データの移行について

本データフォーマットをお薬手帳データの移行に使用する場合、レコード出力条件における「患者等⇒医療機関等」を適用すること。

(5)調剤システム等と電子版お薬手帳システム間のファイル連携について

本仕様書のファイルレイアウトを利用し、ファイル連携を行う場合は「付録2」の仕様を推奨する。

※1:調剤システム等とは、薬局のレセプトコンピュータ、電子薬歴システム、医療機関のレセプトコンピュータや電子カルテなどの電子版お薬手帳を出力するシステムを指す。

※2:電子版お薬手帳システムとは、電子版お薬手帳アプリ等の閲覧用システムを指す。

別表 各種コード表

別表1 年号区分コード

コード名	コード	内容
年号コード	M	明治
	T	大正
	S	昭和
	H	平成
	R	令和

別表2 都道府県コード

コード名	コード	内容
都道府県コード	01	北海道
	02	青森
	03	岩手
	04	宮城
	05	秋田
	06	山形
	07	福島
	08	茨城
	09	栃木
	10	群馬
	11	埼玉
	12	千葉
	13	東京
	14	神奈川
	15	新潟
	16	富山
	17	石川
	18	福井
	19	山梨
	20	長野
	21	岐阜
	22	静岡
	23	愛知
	24	三重
	25	滋賀
	26	京都
	27	大阪
	28	兵庫
	29	奈良
	30	和歌山
	31	鳥取
	32	島根
	33	岡山
	34	広島
	35	山口
	36	徳島
	37	香川
	38	愛媛

	39	高知
	40	福岡
	41	佐賀
	42	長崎
	43	熊本
	44	大分
	45	宮崎
	46	鹿児島
	47	沖縄

別表3 点数表コード

コード名	コード	内容
点数表コード	1	医科
	3	歯科
	4	調剤

別表4 剤形コード

コード名	コード	内容
剤形コード	1	内服
	2	内滴
	3	屯服
	4	注射
	5	外用
	6	浸煎
	7	湯
	9	材料
	10	その他

付録1 お薬手帳イメージと出力データ例

例1:薬局で出力(内服薬のみの場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
コカゾル5mg	4 C
フェバリン配合錠	4 錠
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
アドルボン原末	1.5 g
(局)タナリン「紅イ」	1.5 g
バニ散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
株式会社 工業会薬局 駅前店	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,, ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,, ,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
201,1,コカゾル5mg,4,C,2,620004992,1,, ^{C_RL_F}
201,1,フェバリン配合錠,4,錠,2,620425801,1,, ^{C_RL_F}
301,1,【分2 朝夕食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,アドルボン原末,1.5,g,2,620008284,1,, ^{C_RL_F}
201,2,(局)タナリン「紅イ」,1.5,g,2, 612310013,1,, ^{C_RL_F}
201,2,バニ散,2,g,2,620007148,1,, ^{C_RL_F}
301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}

例2:薬局で出力(内服薬以外を含む場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
コカゾル5mg	6 C
フェバリン配合錠	6 錠
【分3 毎食後服用】	×5 日分
アドルボン原末	1.5 g
(局)タナリン「紅イ」	1.5 g
バニ散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イジソグール液7%	60 ml
【1日3~4回 うがい】	×1 調剤
ボレト注ポンル 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
アネードル30G/8mm(ボ)	60 本
	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
株式会社 工業会薬局 駅前店	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,19580303,,,,,, ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,, ,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
201,1,コカゾル5mg,6,C,2,620004992,1,, ^{C_RL_F}
201,1,フェバリン配合錠,6,錠,2,620425801,1,, ^{C_RL_F}
301,1,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,アドルボン原末,1.5,g,2,620008284,1,, ^{C_RL_F}
201,2,(局)タナリン「紅イ」,1.5,g,2,612310013,1,, ^{C_RL_F}
201,2,バニ散,2,g,2,620007148,1,, ^{C_RL_F}
301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,3,イジソグール液7%,60,ml,2,620008969,1,, ^{C_RL_F}
301,3,【1日3~4回 うがい】,1,調剤,5,1,,1 ^{C_RL_F}
201,4,ボレト注ポンル 300単位,2,筒,2,620008894 ,1,, ^{C_RL_F}
301,4,【1日2回 朝14単位 夕6単位】,1,調剤,4,1, ,1 ^{C_RL_F}
201,5,アネードル30G/8mm(ボ),60,本,2,710010093,1,, ^{C_RL_F}
301,5,,1,調剤,9,1,,1 ^{C_RL_F}
201,6,容器,1,個,1,1,, ^{C_RL_F}
301,6,,1,調剤,10,1,,1 ^{C_RL_F}

例3:薬局で出力(医師情報および薬品補足情報、用法補足情報を含む場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
工業会 次郎	
リカソール5mg	6 C
朝:3C、昼:2C、夕:1C	
7EPA配合錠	6 錠
朝:1錠、昼:3錠、夕:2錠	
【分3 毎食後服用】	×5 日分
一包化	
アトリウム原末	1.5 g
(局)カナルン「ホイ」	1.5 g
バニオン散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イジソール液7%	60 ml
【1日3~4回 うがい】	×1 調剤
ボレト注ポンル 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
アンードル30G/8mm(ボ)	60 本
	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 太郎	
正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,19580303,,,,,1 ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,, 1 ^{C_RL_F}
15,薬剤師 太郎,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
55,工業会 次郎,1 ^{C_RL_F}
201,1,リカソール5mg,6,C,2,620004992,1,,1 ^{C_RL_F}
281,1,朝:3C、昼:2C、夕:1C,1 ^{C_RL_F}
201,1,7EPA配合錠,6,錠,2,620425801,1,,1 ^{C_RL_F}
281,1,朝:1錠、昼:3錠、夕:2錠,1 ^{C_RL_F}
301,1,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
311,1,一包化,1 ^{C_RL_F}
201,2,アトリウム原末,1.5,g,2,620008284,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,(局)カナルン「ホイ」,1.5,g,2,612310013,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,バニオン散,2,g,2,620007148,1,,1 ^{C_RL_F}
301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,3,イジソール液7%,60,ml,2,620008969,1,,1 ^{C_RL_F}
301,3,【1日3~4回 うがい】,1,調剤,5,1,,1 ^{C_RL_F}
201,4,ボレト注ポンル 300単位,2,筒,2 ,620008894,1,,1 ^{C_RL_F}
301,4,【1日2回 朝14単位 夕6単位】,1,調剤,4,1, 1 ^{C_RL_F}
201,5,アンードル30G/8mm(ボ),60,本,1,710010093,1,,1 ^{C_RL_F}
301,5,,1,調剤,9,1,,1 ^{C_RL_F}
201,6,容器,1,個,1,1,,1 ^{C_RL_F}
301,6,,1,調剤,10,1,,1 ^{C_RL_F}
501,正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。1 ^{C_RL_F}

例4:薬局で出力(複数診療科での出力の場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
内科 工業会 次郎	
ワカシカブ 5mg	6 C
フェバリン配合錠	6 錠
【分3 毎食後服用】	×5 日分
アドリルン原末	1.5 g
(局)タナリン「紅い」	1.5 g
バニ散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イジガール液7%	60 ml
【1日3~4回 うかひい】	×1 調剤
ボレツ注ペンシル 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
ペンネード 30G/8mm(ノボ)	60 本
	×1 調剤
皮膚科 佐藤 三郎	
リゲロン-VG軟膏0.12%g	10g
【患部に塗布】	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
服用忘れによりワカシカブ 5mg 錠残薬あり	
株式会社 工業会薬局 駅前店 薬剤師 太郎 正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RF}
1,鈴木 太郎,1,19580303,,,,,, ^{C_RF}
5,R020410,1 ^{C_RF}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,, ^{C_RF}
15,薬剤師 太郎,,1 ^{C_RF}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RF}
55,工業会 次郎,内科,1 ^{C_RF}
201,1,ワカシカブ 5mg,6,C,2,620004992,1,,, ^{C_RF}
201,1,フェバリン配合錠,6,錠,2,620425801,1,,, ^{C_RF}
301,1,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}
201,2,アドリルン原末,1.5,g,2,620008284,1,,, ^{C_RF}
201,2,(局)タナリン「紅い」,1.5,g,2,612310013,1,,, ^{C_RF}
201,2,バニ散,2,g,2,620007148,1,,, ^{C_RF}
301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}
201,3,イジガール液7%,60,ml,2,620008969,1,,, ^{C_RF}
301,3,【1日3~4回 うかひい】,1,調剤,5,1,,1 ^{C_RF}
201,4,ボレツ注ペンシル 300単位,2,筒,2,620008894,1,,, ^{C_RF}
301,4,【1日2回 朝14単位 夕6単位】,1,調剤,4,1,,1 ^{C_RF}
201,5,ペンネード 30G/8mm(ノボ),60,本,2,710010093,1,,, ^{C_RF}
301,5,,1,調剤,9,1,,1 ^{C_RF}
55,佐藤 三郎,皮膚科,1 ^{C_RF}
201,6,リゲロン-VG軟膏0.12%,10,g,2,662640418,1,,, ^{C_RF}
301,6,【患部に塗布】,1,調剤,5,1,,1 ^{C_RF}
201,7,容器,1,個,1,1,,1 ^{C_RF}
301,7,,1,調剤,10,1,,1 ^{C_RF}
421,服用忘れによりワカシカブ 5mg 錠残薬あり,1 ^{C_RF}
501,正しい飲み方は薬袋等をご覧ください,,1 ^{C_RF}

例5:医療機関で出力(用法出力ありの場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
ワカシカブ 5mg	4 C
フェバリン配合錠	4 錠
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
アドリルン原末	1.5 g
(局)タナリン「紅い」	1.5 g
バニ散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
医療法人 工業会病院	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RF}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,, ^{C_RF}
5,R020410,1 ^{C_RF}
11,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,,,1 ^{C_RF}
201,1,ワカシカブ 5mg,4,C,2,620004992,1,,, ^{C_RF}
201,1,フェバリン配合錠,4,錠,2,620425801,1,,, ^{C_RF}
301,1,【分2 朝夕食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}
201,2,アドリルン原末,1.5,g,2,620008284,1,,, ^{C_RF}
201,2,(局)タナリン「紅い」,1.5,g,2,612310013,1,,, ^{C_RF}
201,2,バニ散,2,g,2,620007148,1,,, ^{C_RF}
301,2,【分3 毎食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RF}

例6:医療機関で出力(用法出力なしの場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
リカパンカブ 45mg	4 C
7エロパ [®] リ配合錠	4 錠
	×5 日分
7ド [®] リル [®] 原末	1.5 g
(局)カナル [®] ソ [®] 紅 [®] イ	1.5 g
バ [®] ニ [®] 散	2 g
	×5 日分
医療法人 工業会病院	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,, ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,,,,,1 ^{C_RL_F}
201,1,リカパンカブ 45mg,4,C,2,620004992,1,,, ^{C_RL_F}
201,1,7エロパ [®] リ配合錠,4,錠,2,620425801,1,,, ^{C_RL_F}
301,1,,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,7ド [®] リル [®] 原末,1.5,g,2,620008284,1,,, ^{C_RL_F}
201,2,(局)カナル [®] ソ [®] 紅 [®] イ,1.5,g,2,612310013,1,,, ^{C_RL_F}
201,2,バ [®] ニ [®] 散,2,g,2,620007148,1,,, ^{C_RL_F}
301,2,,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}

例7:患者特記、服用注意情報、かかりつけ薬剤師の出力

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
内科 工業会 次郎	
7ダ [®] ラ [®] ト [®] 錠10mg	2錠
グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。効き目が強くなる ことがあります。	
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
めまい等が現れることがあるので車の運転や高所作業等に注意して ください。	
他の薬を併用する際は、相談してください。	
株式会社 工業会薬局 駅前店	
住所:東京都港区新橋△丁目 電話番号:03-2222-2222	
薬剤師 太郎 (連絡先:03-3333-3333)	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,105-0004,東京都港区新橋○丁目,03-0000-0000,090-0000-0000,B+,63.7, ^{C_RL_F}
2,1,乳製品,1 ^{C_RL_F}
2,2,セフェム系(発熱),1 ^{C_RL_F}
2,3,狭心症(2011年~),1 ^{C_RL_F}
2,9,嚔下困難,1 ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,105-0004,東京都港区新橋△丁目,03-2222-2222,1 ^{C_RL_F}
15,薬剤師 太郎,03-3333-3333,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
55,工業会 次郎,内科,1 ^{C_RL_F}
201,1,7ダ [®] ラ [®] ト [®] 錠10mg,2,錠,2,612170539,1,,, ^{C_RL_F}
291,1,グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。効き目が強くなる ことがあります。1 ^{C_RL_F}
301,1,【分2 朝夕食後服用】,5,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
391,1,めまい等が現れることがあるので車の運転や高所作業等に注意して ください。1 ^{C_RL_F}
401,他の薬を併用する際は、相談してください。1 ^{C_RL_F}
701,薬剤師 太郎,工業会薬局 駅前店,,,,1 ^{C_RL_F}

お薬手帳に記載されている患者情報

氏名	鈴木 太郎
生年月日	昭和33年3月3日
住所	〒105-0004 東京都港区新橋○丁目
電話番号	03-0000-0000
緊急連絡先	090-0000-0000
血液型	B+
体重	63.7 kg
アレルギー歴	乳製品
副作用歴	セフェム系(発熱)
既往歴	狭心症(2011年~)
その他	嚔下困難

お薬手帳に記載されているかかりつけ薬剤師情報

薬剤師氏名	薬剤師 太郎
薬局名	工業会薬局 駅前店

例8:医薬品等を提供せずに情報提供を行う場合(退院時の情報提供の場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
嚥下困難が見られるため、錠剤は粉碎して投与する。	
医療法人 工業会病院	
工業会 次郎	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,, ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業病院,13,1,1234567,,,,,1 ^{C_RL_F}
15,工業会 次郎,,1 ^{C_RL_F}
411,嚥下困難が見られるため、錠剤は粉碎して投与する。.,31,,,,,1 ^{C_RL_F}

No.5(調剤等年月日レコード)には、情報提供を行った日を出力する。また No.11(調剤-医療機関等レコード)および No.15(調剤医師・薬剤師レコード)には、情報を提供した医療機関および、医師を出力する。

例9:薬局から複数調剤日をまとめて出力(2020/04/10 分と 2020/04/07 分をまとめる)

お薬手帳イメージ(2020/04/10)

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
リンデロン-VG軟膏0.12%	5g
【患部に塗布】	×1調剤
ロキソニン錠60mg	1錠
【腰痛時】	×10回分
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 次郎	

出力データ例

JAHISTC08,1 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,, ^{C_RL_F}
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,, ^{C_RL_F}
15,薬剤師 次郎,,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
201,1,リンデロン-VG軟膏0.12%,5,g,2,662640418,1,,, ^{C_RL_F}
301,1,【患部に塗布】,1,調剤,5,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,ロキソニン錠60mg,1,錠,2,620098801,1,,, ^{C_RL_F}
301,2,【腰痛時】,10,回分,3,1,,1 ^{C_RL_F}
5,R020407,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,, ^{C_RL_F}
15,薬剤師 太郎,,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1 ^{C_RL_F}
201,1,アダラートCR錠20mg,1,錠,2,610421321,1,,, ^{C_RL_F}
301,1,【分1 朝食後服用】,28,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,2,アモキシシリンOD錠20mg「トワ」,2,錠,2,621687401,1,,, ^{C_RL_F}
301,2,【分2 朝夕食後服用】,28,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}
201,3,シバスタチン錠10mg,1,錠,2,622315500,1,,, ^{C_RL_F}
301,3,【分1 夕食後服用】,28,日分,1,1,,1 ^{C_RL_F}

お薬手帳イメージ(2020/04/07)

2020/04/07 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
アダラートCR錠20mg	1錠
【分1 朝食後服用】	×28日分
アモキシシリンOD錠20mg「トワ」	2錠
2錠g	
【分2 朝夕食後服用】	×28日分
シバスタチン錠10mg	1錠
2錠g	
【分1 夕食後服用】	×28日分
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 太郎	

来院日や来局日が異なる複数の調剤情報をまとめて出力する場合、調剤年月日が新しいもの(2020/04/10)から古いもの(2020/04/07)の順で出力する。

例10:患者から医療機関・薬局にデータを提供(患者等記入レコードを含む場合)

お薬手帳イメージ

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
アダラートCR錠20mg	1錠
【分1 朝食後服用】	×28日分
ファミジンOD錠20mg「トワ」	2錠
【分2 朝夕食後服用】	×28日分
シバスタ錠10mg	1錠
【分1 夕食後服用】	×28日分
株式会社 工業会薬局 駅前店	
朝に薬を飲んだ後、めまいがあった	

出力データ例

JAHISTC08,2 ^{C_RL_F}
1,鈴木 太郎,1,S330303,,,,,C _R L _F
5,R020410,1 ^{C_RL_F}
11,株式会社 工業会薬局 駅前店,,,,,1 ^{C_RL_F}
51,医療法人 工業会病院,,,,,1 ^{C_RL_F}
201,1,アダラートCR錠20mg,1,錠,2,610421321,1,,,C _R L _F
301,1,【分1 朝食後服用】,,,,,1 ^{C_RL_F}
201,2,ファミジンOD錠20mg「トワ」,2,錠,2,621687401,1,,,C _R L _F
301,2,【分2 朝夕食後服用】,,,,,1 ^{C_RL_F}
201,3,シバスタ錠10mg,1,錠,2,622315500,1,,,C _R L _F
301,3,【分1 夕食後服用】,,,,,1 ^{C_RL_F}
601,朝に薬を飲んだ後、めまいがあった,R020407 ^{C_RL_F}

例11:患者から医療機関・薬局にデータを提供
 (複数調剤日をまとめて出力、要指導医薬品・一般用医薬品服用レコード、手帳メモレコード、患者等記入レコード、かかりつけ薬剤師レコードを含む場合)g

お薬手帳イメージ(2020/04/10)

2020/04/10 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
リデロン-VG軟膏0.12%	5g
かゆみや発赤、腫れがあらわれた場合には、主治医または薬剤師にご相談ください。	
【患部に塗布】	×1調剤
ロキニ錠60mg	1錠
【腰痛時】	×10回分
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 次郎	

お薬手帳イメージ(2020/04/07)

2020/04/07 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
アダラートCR錠20mg	1錠
グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。効き目が強くなる場合があります。	
【分1 朝食後服用】	×28日分
めまい等が現れることがあるので車の運転や高所作業等に注意してください。	
ファミジンOD錠20mg「ト」	2錠
【分2 朝夕食後服用】	×28日分
シバスタ錠10mg	1錠
【分1 夕食後服用】	×28日分
他の薬を併用する際は、相談してください。	
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 太郎	
朝に薬を飲んだ後、めまいがあった	

お薬手帳に記載されている患者情報

氏名	鈴木 太郎
生年月日	昭和33年3月3日
住所	〒105-0004 東京都港区新橋〇丁目
電話番号	03-0000-0000
緊急連絡先	090-0000-0000
血液型	B+
体重	63.7 kg
アレルギー歴	乳製品
副作用歴	セフェム系(発熱)
既往歴	狭心症(2011年～)
その他	嚥下困難

お薬手帳に記載の一般医薬品服用情報、メモ情報

OTC医薬品の服用:	
バファリン (R02.4.6 ~ R02.4.9)	
新コンタックかせ総合	
MEMO欄:	
インフルエンザ予防接種(R02.3.31)	
健康診断(R02.4.11)	

出力データ例

JAHISTC08,2CRLF

1,鈴木 太郎,1,S330303,105-0004,東京都港区新橋〇丁目,03-0000-0000,090-0000-0000,B+,63.7,C_RL_F

2,1,乳製品,1,C_RL_F

2,2,セフェム系(発熱),1,C_RL_F

2,3,狭心症(2011年～),1,C_RL_F

2,9,嚥下困難,1,C_RL_F

3,バファリン,R020406,R020409,2,1,C_RL_F

31,1,イブプロフェン,2,1149001,2,C_RL_F

31,1,アセトアミノフェン,2,1141001,2,C_RL_F

31,1,無水カフェイン,2,2115004,2,C_RL_F

3,新コンタックかせ総合,,,2,2,C_RL_F

31,2,アセトアミノフェン,2,1141001,2,C_RL_F

31,2,無水カフェイン,2,2115004,2,C_RL_F

31,2,デキストロトルファン臭化水素酸塩水和物,1,,2,C_RL_F

4,健康診断,R020411,2,C_RL_F

4,インフルエンザ予防接種,R020331,2,C_RL_F

5,R020410,1,C_RL_F

11,株式会社 工業会薬局 駅前店,13,4,1234567,,,,,1,C_RL_F

15,薬剤師 次郎,1,C_RL_F

51,医療法人 工業会病院,13,1,1234567,1,C_RL_F

201,1,リデロン-VG軟膏0.12%,5,g,2,662640418,1,,,C_RL_F

291,1,かゆみや発赤、腫れがあらわれた場合には、主治医または薬剤師に相談してください。、1,C_RL_F

301,1,【患部に塗布】、1,調剤,5,1,,1,C_RL_F

201,2,ロキニ錠60mg,1,錠,2,620098801,1,,,C_RL_F

301,2,【腰痛時】、10,回分,3,1,,1,C_RL_F

5,R020407,1,C_RL_F

11,株式会社 工業会薬局 駅前店,,,,,,1,C_RL_F

15,薬剤師 太郎,1,C_RL_F

51,医療法人 工業会病院,,,,,1,C_RL_F

201,1,アダラートCR錠20mg,1,錠,2,610421321,1,,,C_RL_F

291,1,グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。効き目が強くなる場合があります。、1,C_RL_F

301,1,【分1 朝食後服用】、28,日分,1,1,,1,C_RL_F

391,1,めまい等が現れることがあるので車の運転や高所作業等に注意してください。、1,C_RL_F

201,2,ファミジンOD錠20mg「ト」,2,錠,2,621687401,1,,,C_RL_F

301,2,【分2 朝夕食後服用】、28,日分,1,1,,1,C_RL_F

201,3,シバスタ錠10mg,1,錠,2,622315500,1,,,C_RL_F

301,3,【分1 夕食後服用】、28,日分,1,1,,1,C_RL_F

401,他の薬を併用する際は、相談してください。、1,C_RL_F

601,朝に薬を飲んだ後、めまいがあった,R020407,C_RL_F

701,薬剤師 次郎,工業会薬局 駅前店,,,,,1,C_RL_F

お薬手帳に記載されているかかりつけ薬剤師情報

薬剤師氏名	薬剤師 次郎
薬局名	工業会薬局 駅前店

付録2 ファイルによる連携

調剤システム等と電子版お薬手帳システムとの連携において、本仕様書で定義しているファイルレイアウトについてファイルによる連携をする場合の方法を以下に示す。

ファイル連携では、調剤システム等と電子版お薬手帳システムの双方が参照可能なフォルダを利用し、調剤システム等で作成した「医療機関等⇒患者等」ファイル、電子版お薬手帳システムで作成した「患者等⇒医療機関等」ファイルをそれぞれ別フォルダに格納すること。

調剤システム等からのファイル出力は「JAHISTCU」フォルダ、電子版お薬手帳システムからのファイル出力は「JAHISTCD」フォルダを利用すること。

ファイル連携で利用するファイルは以下の命名規則に沿って作成すること。

ファイル作成タイミング及び取得タイミングについては、当事者システム(調剤システム等および電子版お薬手帳システム)間の運用に支障が出ないように考慮すること。

表 付 2-1 ファイル命名規則

名称	型	バイト	備考
ファイル作成日時	9	17	西暦:YYYYMMDDhhmmssSSS ファイル作成時の年月日(西暦: YYYYMMDD)と時刻(hhmmssSSS(ミリ秒含む))を記録する。
識別文字	X	15	ファイル個別の文字列(英数字のみ)を、右詰 15 桁(前0 埋め)で記録すること。 ※患者 ID 等を想定。
拡張子	-	-	「.jhs」とすること。
ファイル名 出力サンプル	調剤システム等から出力した場合。 ※出力日時「2017/09/01 10:10:10.234」 ※識別文字「123」の場合		201709011010102340000000000000123.jhs
	電子版お薬手帳システムから出力した場合。 ※出力日時「2017/09/02 15:30:45.600」 ※識別文字「123456789012345」の場合		20170902153045600123456789012345.jhs

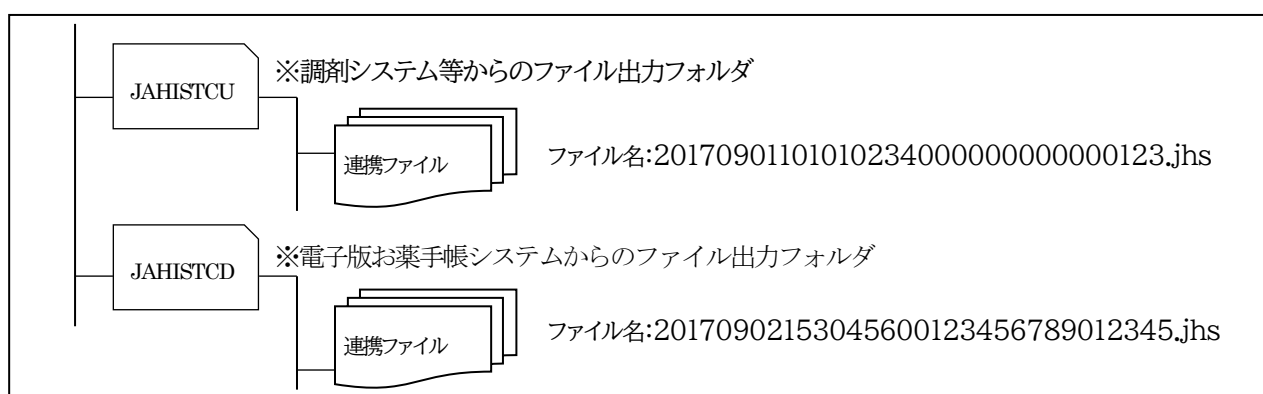


図 付 2-1 ファイル連携の例

付録3 作成者名簿

作成者(社名五十音順)

佐藤 夏苗	(株)EMテクノロジー研究所
井出 真司	ウィーメックス(株)
塩野 芳直	ウィーメックス(株)
鈴木 哲	ウィーメックス(株)
前田 裕昭	ウィーメックス(株)
清水 克彦	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
中湖 豊明	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
濱田 悟	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
松岡 智世	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
金田 恵	(株)カケハシ
柴田 征宏	(株)カケハシ
中尾 豊	(株)カケハシ
下平 宏一	(株)くすりの窓口
山口 遊生	(株)くすりの窓口
河野 潤輝	(株)グッドサイクルシステム
星野 恒行	(株)グッドサイクルシステム
川瀬 大輔	(株)ズー
小池 裕子	(株)ズー
関 晃広	(株)ズー
森 昌典	(株)ズー
泉谷 理	(株)ソラミチシステム
岡田 辰也	(株)ソラミチシステム
近内 誠	(株)ソラミチシステム

安部 紘希	(株)DB Studio
井上 翼	(株)DB Studio
勝田 暢也	(株)ネグジット総研
高橋 載征	(株)ネグジット総研
武井 心彩	東日本メディコム(株)
野本 禎	東日本メディコム(株)
広井 嘉栄	(株)ファルモ
鮎川 稔	三菱電機ITソリューションズ(株)
宮島 毅	三菱電機ITソリューションズ(株)
守屋 和昭	三菱電機ITソリューションズ(株)
矢澤 浩	三菱電機ITソリューションズ(株)
八木 さとし	(株)メディカルフロント
大久保 公寛	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
加藤 明	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
高橋 雄一	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
田中 裕	(株)ユニケソフトウェアリサーチ

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2012/9/11	Ver.1.0	初版
2013/9/10	Ver.1.1	<p><算定要件として記載すべき項目の追加に関する修正「4.2.8 各種レコードレイアウト」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.1 患者情報レコードに「患者郵便番号」「患者住所」「患者電話番号」「緊急連絡先」「血液型」「体重」を追加 ・No.2 患者特記レコードを追加 ・No.11 調剤－医療機関等レコードに「医療機関郵便番号」「医療機関住所」「医療機関電話番号」を追加 ・No.15 調剤－医師・薬剤師レコードに「医師・薬剤師連絡先」を追加 ・No.291 薬品服用注意レコードの追加 ・No.391 処方服用注意レコードの追加 ・No.401 服用注意レコードの追加 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがき、「1.はじめに」に Ver.1.1 での改版に関する記述追加 ・「4.1 バージョン情報」の内容の見直し ・「4.2.2.データの型」Xにハイフンを追加 ・レコード追加に伴い、「4.2.6 レコード出力順」「4.2.7 各種レコード情報」「4.2.9 補足」の表および文章の追加 ・レコードレイアウトから「桁数」の表現を削除 ・医療機関コード遡及指定申請中の記録方法について備考の追加 ・No.11 調剤－医療機関レコードの枠外の注記が「医療機関コード」に関するものであることを明記 ・No.201 薬品レコード「薬品名称」のバイト数を「80」から「120」に変更 ・No.201 薬品レコードの枠外に、薬品コードを極力記録するように注記を追加 ・「付録1」出力データ例の修正(例1～例6の修正、例7の追加) ・「付録2」作成者名簿の修正 ・改定履歴の追加
2015/11/10	Ver.2.0	<p><患者から医療機関・薬局に情報を提供するための仕様の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」に記載されているすべてのレコードに「患者等⇒医療機関等」の出力要件の追加 ・バージョンレコードに「出力区分」を追加 <p><患者が記入した情報を医療機関・薬局が閲覧することを目的とした項目の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.3 一般用医薬品服用レコードの追加 ・No.4 手帳メモレコードの追加 ・No.601 患者等記入レコードの追加 <p><複数の調剤分をまとめて出力する場合の仕様の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.7 レコード出力順」で調剤情報の繰り返しを追加、まとめて出力する場合の注意事項を追加。 <p><データを分割して記録する仕様の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.911 分割制御レコードの追加 ・「3.2.10 補足」に「データを分割した場合の出力方法について」の項を追加 <p><医療機関等から患者等に提供する情報の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.411 医療機関等提供情報レコードの追加 ・「3.2.10 補足」に「医薬品等を提供せずに情報提供を行う場合について」の項を追加 <p><レコード作成者を記録する仕様の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」に記載されている各レコードに、「レコード作成者」の追

		<p>加</p> <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版に関する記述の追加と文章の見直し ・「1.はじめに」で、仕様書の修正に伴う文章の見直し ・「2.対象範囲」で、仕様書の修正に伴う文章の見直し ・「2.対象範囲」で、「2.1 医療機関・薬局から患者等への電子データの提供」「2.2 患者から医療機関・電子データの提供」「2.3 お薬手帳データの移行」の節を追加 ・「3.留意事項」の章を削除 ・「3.1 バージョン情報」の内容を見直し ・「3.2.6 情報グループとレコード情報」の節を追加 ・「3.2.7 レコード出力順」で、項目の表現を見直し ・旧バージョンの「4.2.7 各種レコード情報」の節を「3.2.8 レコード出力条件」とし、仕様書の修正に伴う内容の見直し ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、各レコードのレコード名称に補記してあったレコード出力条件を削除 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、各レコードの欄外に補記してあった注釈を「3.2.8 レコード出力条件」に移動 「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、改版に伴う各レコードの有効レコード出力サンプルの見直し ・No.1 患者情報レコード「患者性別」「患者生年月日」を省略可から必須出力に変更 ・No.1 患者情報レコードに「患者氏名カナ」を追加 ・No.5 調剤年月日レコードのレコード名称を“調剤等年月日レコード”に変更 ・No.5 調剤年月日レコードの備考の文章を見直し ・No.5 調剤等年月日レコードの備考に、医薬品等の提供を行わずに情報を提供する場合の備考を追加 ・No.11 調剤－医療機関レコードの各項目で、項目名称を“医療機関”から“医療機関等”に変更 ・No.11 調剤－医療機関レコードの各項目の備考で、“医療機関”の表現を“医療機関または薬局”などに見直し ・「3.2.10 補足」に「お薬手帳データの移行について」の項を追加 ・「付録 1 お薬手帳イメージと出力データ例」で、改版に伴う修正と出力例の追加 ・「付録 2 作成者名簿」の修正 ・改定履歴の追加
2016/3/8	Ver.2.1	<p><平成 28 年 4 月診療報酬改定対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版に関する記述の追加と文章の見直し ・「3.1 バージョン情報」で、バージョン情報を「JAHISTC04」に変更 ・「3.2.6 情報グループとレコード情報」で、「かかりつけ薬剤師情報」を追加 ・「3.2.7 レコード出力順」で「かかりつけ薬剤師情報」を追加 ・「3.2.8 レコード出力条件」で、No.701 かかりつけ薬剤師レコードを追加 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.701 かかりつけ薬剤師レコードを追加 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」全般で有効レコード出力サンプルのバージョン情報と日付の見直し ・「3.2.10 補足」で、出力例のバージョン情報と日付の見直し ・「付録 1 お薬手帳イメージと出力データ例」で改版に伴うバージョン情報と日付の見直し ・「付録 1 お薬手帳イメージと出力データ例」の例 7、例 11 で、かかりつけ薬剤師レコードを出力するように変更 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.8 レコード出力条件」で、No.5 調剤年月日レコード、No.11 調剤－医療機関等レ

		<p>コード、No.15 調剤—医師・薬剤師レコード、No.51 処方—医療機関レコードの同一NO.レコード出力を“1調剤情報に1レコード”に修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「付録2 作成者名簿」の修正 ・改定履歴の追加
2017/11/29	Ver.2.2	<p><ファイルによる連携方法を追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版に関する記述の追加と文章の見直し ・「3.1 バージョン情報」で、バージョン情報を「JAHISTC05」に変更。 ・「3.2.10 補足」で、ファイル連携について文章を追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・付録2として「ファイルによる連携」を追加。 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.301 用法レコード—用法コード種別の備考の「JAMI 用法コード」の説明を修正。 ・付録1 お薬手帳イメージと出力データ例の例11のレコード記録順を修正。 ・Ver.2.1 における付録2「作成者名簿」を付録3へ変更。
2019/4/9	Ver.2.3	<p><改元への対応を追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版に関する記述の追加と文章の見直し。 ・「3.1 バージョン情報」で、バージョン情報を「JAHISTC06」に変更。 ・「別表1 年号区分コード」で、新元号に対応した「年号コード」を追加。 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2.1 医療機関・薬局から患者等への電子データの提供」および「3.2.6 情報グループとレコード情報」の「処方せん」を「処方箋」に変更。 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.301 用法レコード—剤型コードの名称を「剤形コード」に変更。 ・付録1 お薬手帳イメージと出力データ例の日付等を修正。
2020/3/10	Ver.2.4	<p><令和2年4月診療報酬改定対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版等に関する記述の追加と文章の見直し。 ・「3.1 バージョン情報」で、バージョン情報を「JAHISTC07」に変更。 ・「3.2.6 情報グループとレコード情報」で、「残薬確認情報」を追加。 ・「3.2.7 レコード出力順」で「残薬確認情報」を追加。 ・「3.2.8 レコード出力条件」で、No.421 残薬確認レコードを追加。 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.421 残薬確認レコードを追加。 ・「付録1 お薬手帳イメージと出力データ例」の例4で、残薬確認レコードを出力するように変更 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・付録1 お薬手帳イメージと出力データ例の日付等を修正。 ・「付録2 作成者名簿」の修正。 ・改定履歴の追加。
2024/3/12	Ver.2.5	<p><電子版薬手帳ガイドライン対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえがきで、改版等に関する記述の追加と文章の見直し。 ・「3.1 バージョン情報」で、バージョン情報を「JAHISTC08」に変更。 ・「3.2.6 情報グループとレコード情報」で、「一般用医薬品服用情報」を「要指導医薬品・一般用医薬品服用情報」に変更。 ・「3.2.6 情報グループとレコード情報」で、No.31 要指導医薬品・一般用医薬品成分レコードを追加。 ・「3.2.8 レコード出力条件」で、「一般用医薬品服用情報」を「要指導医薬品・一般用医薬品服用情報」に変更。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.8 レコード出力条件」で、No.31 要指導医薬品・一般用医薬品成分レコードを追加。 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.31 要指導医薬品・一般用医薬品成分レコードを追加。 ・「3.2.9 各種レコードレイアウト」で、No.201 薬品レコードに項目「一般名」「一般名コード種別」「一般名コード」を追加。 ・「付録 1 お薬手帳イメージと出力データ例」の例 11 で、要指導医薬品・一般用医薬品成分レコードを出力するように変更。 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAHIS 標準類文書のガイドラインに則した図表番号およびタイトル記載の修正。 ・「付録 2 作成者名簿」の修正。 ・改定履歴の追加。
2024/9/10	Ver.2.6	<p><令和 6 年 10 月選定療養対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.2.8 各種レコードレイアウト」で、No.201 薬品レコードに項目「薬品コード」に補足事項を追加。 <p><その他の修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAHIS 標準類文書のガイドラインに則した文章テンプレートに修正。 ・「付録 2 作成者名簿」の修正。 ・改定履歴の追加。

(JAHIS技術文書 24-104)

2024年9月発行

JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット仕様書Ver. 2.6

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)